

がん対策における 緩和ケアの評価に関する研究

がん対策推進協議会

平成27年3月5日

研究代表者：国立がん研究センターがん対策情報センター
加藤雅志

1

全体像：がん対策の指標策定に関する3つの研究班

がん対策における進捗管理 指標の策定と計測システムの 確立に関する研究	がん対策における緩和ケアの 評価に関する研究	がん診療拠点病院におけるがん 疼痛緩和に対する取り組みの評 価と改善に関する研究
代表：若尾文彦	代表：加藤雅志	代表：細川豊史
1. 分野別施策（右班担当 部分以外）を対象に協 議会委員と専門家の総 意により策定	1. 緩和ケアの指標を協議 会委員と専門家の総意 により策定	がん疼痛緩和の好事例収集 により、疼痛緩和について一 般化された政策提言を行う
2. 全体目標（療養生活の 質の向上）の評価方法 を確立	2. 指標データの収集	
3. 既存の指標に関しては収 集し公表	3. 緩和ケア提供体制の 変化を質的・量的に検討	

2

目的

第2期がん対策推進基本計画の中間評価に向けて

- これまでのがん対策がもたらした緩和ケアに関する**臨床現場等における変化を評価**し、緩和ケア推進の**施策の効果**を評価する
- がん対策における緩和ケア推進の進捗状況を継続的に計測していくための**指標を開発**し、**計測を開始**する
- 緩和ケアに関するがん対策の課題を明らかにし、今後、注力して**取り組むべき施策を提案**する

3

研究概要

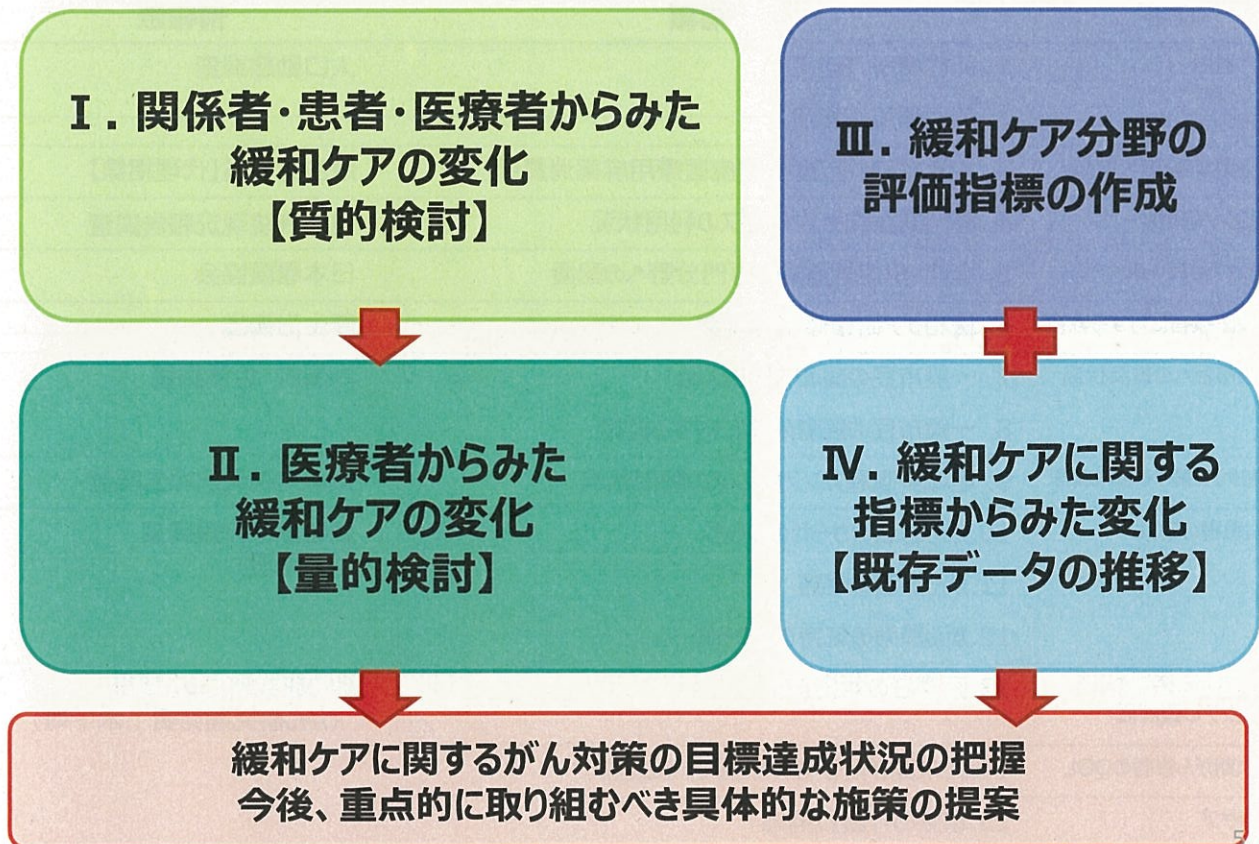
- I. がん対策推進協議会委員等の関係者、患者、医師、看護師からみた緩和ケアの変化に関するインタビュー調査
【質的検討】
- II. 医療者からみた緩和ケアの変化に関する質問紙調査
【量的検討】
- III. デルファイ法による「緩和ケア」分野に関する評価指標の作成
(若尾班と連携)
- IV. 既存の指標からみた、がん対策基本法前後の緩和ケアに関する全国指標の推移の把握



調査結果の総括と今後への提案

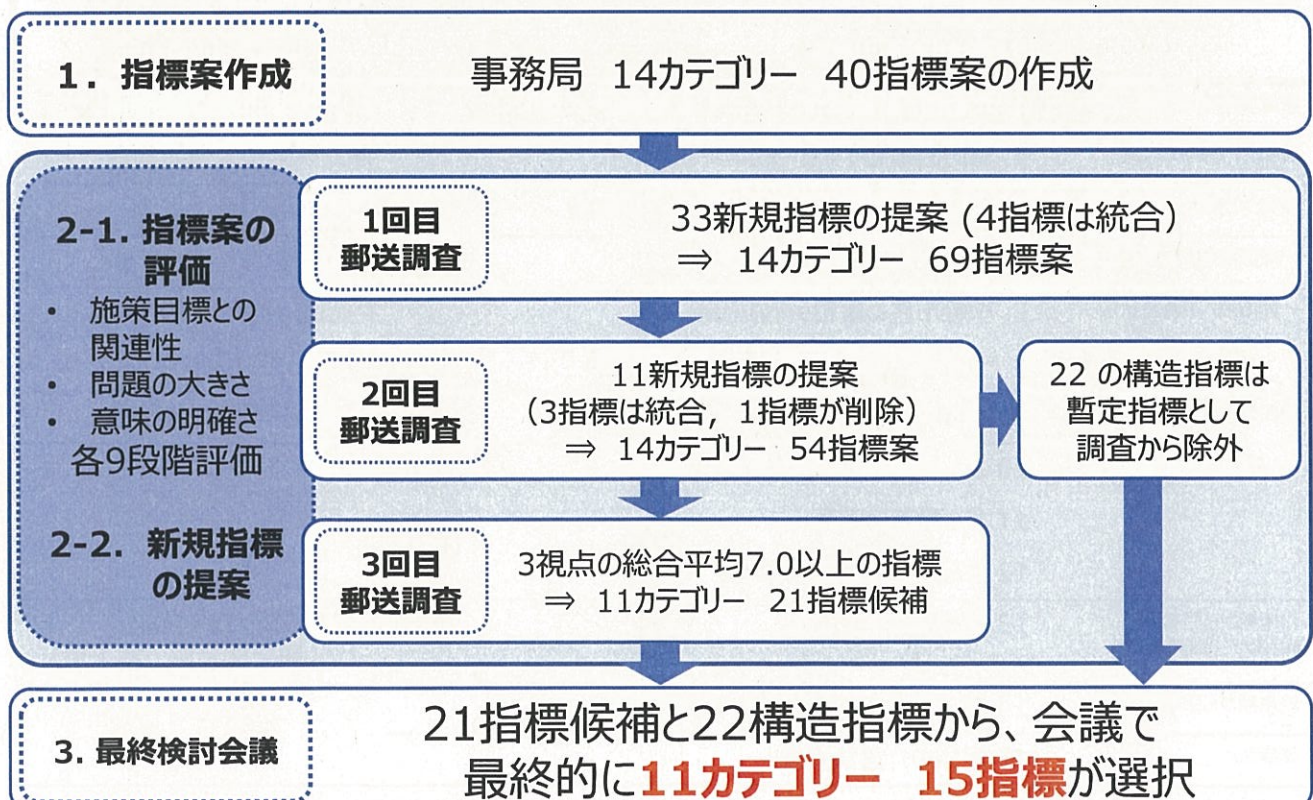
4

がん対策における緩和ケアの評価



緩和ケア分野の評価指標の作成

【方法】デルファイ法を用いてパネルメンバー48名の意見を集約



緩和ケア分野の評価指標の作成

カテゴリー	指標	情報源
死亡場所	1. 死亡場所（自宅） 2. 死亡場所（施設）	人口動態調査
医療用麻薬の利用状況	3. 主要経口・経直腸・経皮医療用麻薬消費量	厚生労働省【代理指標】
緩和ケア専門サービス	4. 専門的緩和ケアサービスの利用状況	拠点病院現況報告調査
緩和ケア専門人員サービス	5. 専門・認定看護師の専門分野への配置	日本看護協会
一般医療者に対する教育	6. 緩和ケア研修修了医師数	厚生労働省
一般市民への普及状況	7. 一般市民の緩和ケアの認識 8. 一般市民の医療麻薬に対する認識	内閣府 世論調査
緩和ケアに関する地域連携	9. 地域多職種カンファレンスの開催状況	拠点病院現況報告調査
がん患者のQOL	10. がん患者のからだのつらさ 11. がん患者の疼痛 12. がん患者の気持ちのつらさ	患者診療体験調査 (若尾班)
終末期がん患者の緩和ケアの質評価	13. 医療者の対応の質	他の研究班による調査 (がん研究開発費：木下班)
終末期がん患者のQOL	14. 終末期がん患者の療養場所の選択	
家族ケア	15. 家族の介護負担感	

7

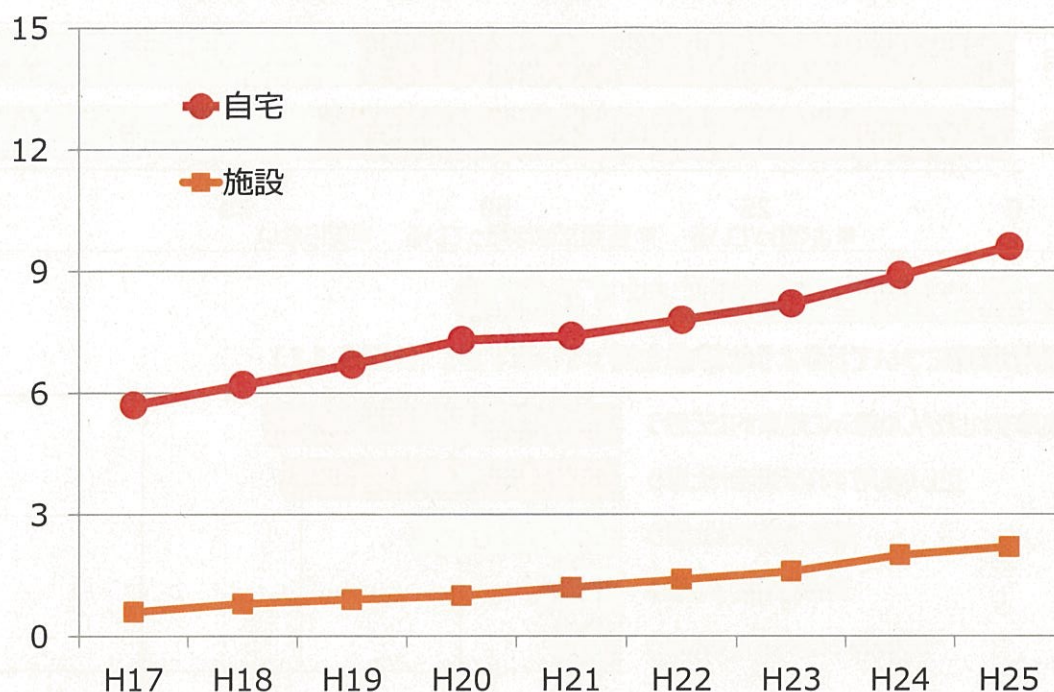
緩和ケア分野の評価指標の測定

カテゴリー	指標	情報源
死亡場所	1. 死亡場所（自宅） 2. 死亡場所（施設）	人口動態調査
医療用麻薬の利用状況	3. 主要経口・経直腸・経皮医療用麻薬消費量	厚生労働省【代理指標】
緩和ケア専門サービス	4. 専門的緩和ケアサービスの利用状況	拠点病院現況報告調査
緩和ケア専門人員サービス	5. 専門・認定看護師の専門分野への配置	日本看護協会
一般医療者に対する教育	6. 緩和ケア研修修了医師数	厚生労働省
一般市民への普及状況	7. 一般市民の緩和ケアの認識 8. 一般市民の医療用麻薬に対する認識	内閣府 世論調査
緩和ケアに関する地域連携	9. 地域多職種カンファレンスの開催状況	拠点病院現況報告調査
がん患者のQOL	10. がん患者のからだのつらさ 11. がん患者の疼痛 12. がん患者の気持ちのつらさ	患者診療体験調査 (若尾班)
終末期がん患者の緩和ケアの質評価	13. 医療者の対応の質	他の研究班による調査 (がん研究開発費：木下班)
終末期がん患者のQOL	14. 終末期がん患者の療養場所の選択	
家族ケア	15. 家族の介護負担感	

8

緩和ケア分野の評価指標の測定

死亡場所（自宅・施設）の割合（％）



データ源：人口動態調査（施設とは、介護老人保健施設、老人ホーム）

9

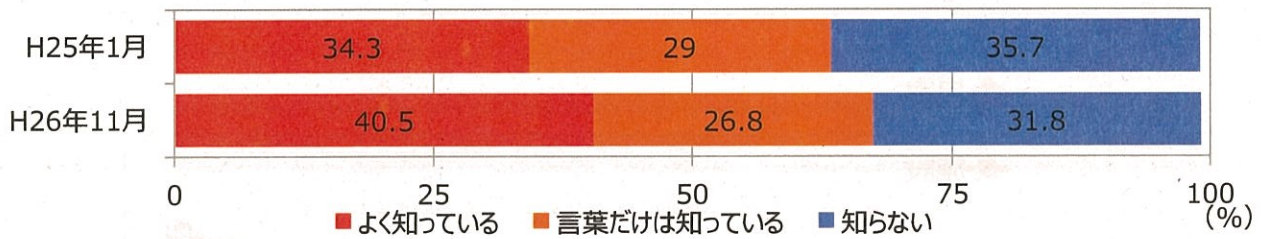
緩和ケア分野の評価指標の測定

カテゴリー	指標	情報源
死亡場所	1. 死亡場所（自宅） 2. 死亡場所（施設）	人口動態調査
医療用麻薬の利用状況	3. 主要経口・経直腸・経皮医療用麻薬消費量	厚生労働省【代理指標】
緩和ケア専門サービス	4. 専門的緩和ケアサービスの利用状況	拠点病院現況報告調査
緩和ケア専門人員サービス	5. 専門・認定看護師の専門分野への配置	日本看護協会
一般医療者に対する教育	6. 緩和ケア研修修了医師数	厚生労働省
一般市民への普及状況	7. 一般市民の緩和ケアの認識 8. 一般市民の医療用麻薬に対する認識	内閣府 世論調査
緩和ケアに関する地域連携	9. 地域多職種カンファレンスの開催状況	拠点病院現況報告調査
がん患者のQOL	10. がん患者のからだのつらさ 11. がん患者の疼痛 12. がん患者の気持ちのつらさ	患者診療体験調査（若尾班）
終末期がん患者の緩和ケアの質評価	13. 医療者の対応の質	他の研究班による調査（がん研究開発費：木下班）
終末期がん患者のQOL	14. 終末期がん患者の療養場所の選択	
家族ケア	15. 家族の介護負担感	

緩和ケア分野の評価指標の測定

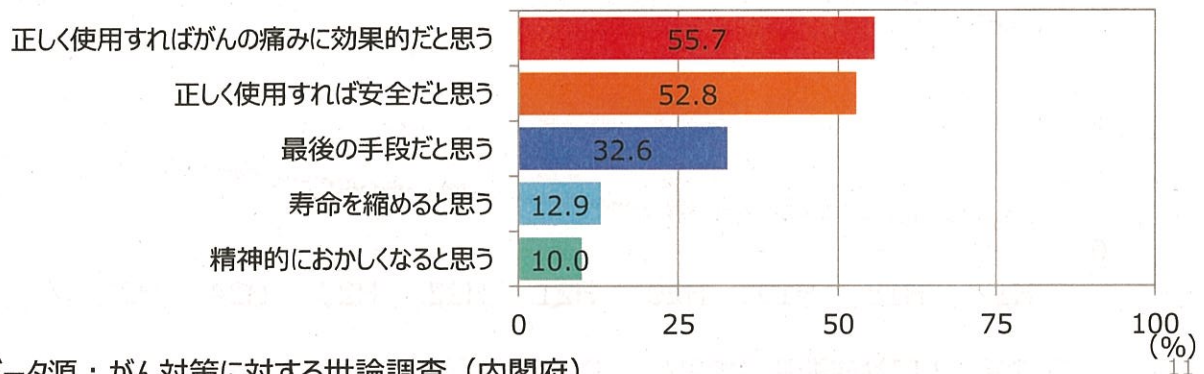
一般市民の緩和ケアの認識

Q.緩和ケアとはがんに対する体と心の痛みを和らげることですが、知っていましたか。



一般市民の医療用麻薬に対する認識

Q.医療用麻薬についてどのような印象を持っていますか。(H26.11)



データ源：がん対策に対する世論調査（内閣府）

緩和ケア分野の評価指標（1）

指標	算出法（分子/分母）	H24	H25
1. 死亡場所（自宅）	がん患者の自宅死亡割合 / 全がん死亡者	8.9%	9.6%
2. 死亡場所（施設）	がん患者の施設死亡割合 / 全がん死亡者	2.0%	2.2%
3. 主要経口・経直腸・ 経皮医療用 麻薬消費量【代理指標】	(モルヒネ・オキシコドン・フェンタニル)-(フェンタニル注射液) のモルヒネ換算年間消費量 (g)	4,913,283g	4,914,598g
4. 専門的緩和ケアサービスの利用状況 【代理指標】	拠点病院 緩和ケアチーム 年間新規診療症例数 拠点病院 緩和ケア外来 年間新規診療症例数 拠点病院 緩和ケア病棟 年間新入院患者数	-	22,170 57,593 14,268
5. 専門・認定看護師の 専門分野への配置	緩和ケア領域の仕事に専任として従事している割合 / がん看護専門看護師・緩和ケア認定 看護師・がん性疼痛認定看護師	がん看護CNS 緩和ケアCN がん性疼痛CN	(H26) 56.0% 62.4% 50.3%
6. 緩和ケア研修修了医師数	緩和ケア研修会の修了医師数	(H25) 40,550	(H26) 52,254

緩和ケア分野の評価指標（2）

指標	算出法（分子/分母）	H24	H25
7. 一般市民の緩和ケアの認識	「緩和ケアとは、がんに伴う体と心の痛みを和らげることをよく知っている」 「緩和ケアはがんと診断されたときから実施されるべきもの」と回答した割合 / 一般市民	(H25) 34.3% 58.3%	(H26) 40.5% 57.9%
8. 一般市民の医療麻薬に対する認識	「医療用麻薬は精神的依存や生命予後に影響せず、安全に使用できる」の回答割合 / 一般市民	-	(H26) 52.8%
9. 地域多職種カンファレンスの開催状況	地域の他施設が参加する多職種連携カンファレンスの開催回数 / 拠点病院	-	(H26) 1,828
10. がん患者のからだのつらさ 《参考値：受療行動調査》	「からだの苦痛がある」について「あまりそう思わない」、「そう思わない」の回答割合 / がん患者	(H23) 外来 57.1% 入院 36.5%	-
11. がん患者の疼痛 《参考値：受療行動調査》	「痛みがある」について「あまりそう思わない」、「そう思わない」の回答割合 / がん患者	(H23) 外来 65.5% 入院 44.2%	-
12. がん患者の気持ちのつらさ 《参考値：受療行動調査》	「気持ちが辛い」について「あまりそう思わない」、「そう思わない」の回答割合 / がん患者	(H23) 外来 57.5% 入院 36.7%	- 13

緩和ケア分野の評価指標（3）

指標	算出法（分子/分母）	H24	H25
13. 医療者の対応の質 《参考値：J-HOPE》	「医療者は、患者のつらい症状にすみやかに対応していた」の回答割合 / がん患者遺族	(H23) 62%	-
14. 終末期がん患者の療養場所の選択 《参考値：J-HOPE》	「患者は望んだ場所で過ごせた」の回答割合 / がん患者遺族	(H23) 54%	-
15. 家族の介護負担感 《参考値：J-HOPE》	「介護をしたことで身体的負担感が大きかった」の回答割合 「介護をしたことで精神的負担が大きかった」の回答割合 / がん患者遺族	(H19) 43-49% 63-65%	-

